

市町村名	糸満市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	歴史記録資料デジタル化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
担当部課名	教育委員会	生涯学習課	事業実施 年度	平成 30	平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	-1-(1)
事業内容	本市の歴史・文化を継承するため、本市に関する音声・映像資料群(カセットテープ・8mmフィルム等)の映像資料をデジタル化し、『糸満市史』編集や展示等で活用する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	年度	年度	年度	合計	
	A. 予算現額	2,925				2,925	
	B. 執行済額	2,192				2,192	
	うち 交付金充当額	1,753				1,753	
	執行率(%) (B/A)	74.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	74.9%	
執行状況の説明	不用額733千円は委託料の入札残によるものであり、事業は計画どおりに執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	年度	年度	年度	
	・歴史・文化を記録した資料群(カセットテープ等)のデジタル化	目標	実施				
		実績	実施				
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	年度	年度	年度	
	・市の歴史・文化を記録した資料群のデジタル化の完了	目標	完了				
		実績	完了				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
	成果目標(指標) 中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R1年度	年度	年度	年度	年度 目標/発現年度
事業完了後の 成果目標	ホームページで公開した市の歴史・文化に関する資料の アクセス数340件	目標	340件			
		実績	237件			
		目標				
		実績				
状況説明	[R1年度] ・ホームページへのアクセス数は237件となり、目標の340件を下回った。 [年度] ・ [年度] ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
[R1年度] ・アクセス数が目標を下回っていることについて、認知度が低いことや周知不足が原因としてあったかと思われる。 ・市民の糸満市の歴史、文化への関心が低いことが考えられる。 [年度] ・ [年度] ・			[R1年度] ・認知度向上のために広報への情報掲載やホームページで簡易にアクセスできるように努める必要がある。 ・市史講座などと連携し、市の歴史文化への関心を高める。 [年度] ・ [年度] ・			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
[R2年度] ・教育委員会において実施している事業の中でホームページの周知を行う。 ・市史講座をとおし、市の歴史文化への関心を高め、市のホームページへのアクセス数向上を目指す。 ・デジタルデータを『糸満市史編集』に活用し、市民への歴史・文化の知識の普及に努める。 ・デジタルデータを展示等に活用し、市民が気軽に本市の歴史・文化に触れられるようにする。 ・整理した原資料は適切な温湿度環境のもと保管していく。 [年度] ・ [年度] ・						

市町村名	糸満市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	観光地危機管理対策事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	総務部	総務課	事業実施 年度	平成 28	平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	観光施設が立地する本市において、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対処できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食・毛布・炊き出し資機材等の整備を行う。 整備施設:糸満小学校、真壁小学校、農村改善センター、糸満中学校、兼城中学校、潮平中学校、喜屋武小学校、兼城小学校の防災倉庫整備。							
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()			
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計		
	A. 予算現額	50,269	14,320	15,693		80,282		
	B. 執行済額	49,662	14,314	15,245		79,221		
	うち 交付金充当額	39,730	11,451	12,196		63,377		
	執行率(%) (B/A)	98.8%	100.0%	97.1%	#DIV/0!	98.7%		
執行状況の説明	ほぼ当初予算のとおりに執行できた。入札により執行額が抑えられたことで、適正に執行できたと考える。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	指定避難所へ防災資機材の整備		目標	3	3	3		
			実績	3	3	3		
			目標					
			実績					
		目標						
		実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	指定避難所へ防災資機材の整備完了(3箇所)		目標	3	3	3		
			実績	3	3	3		
	備蓄食料の備蓄率		目標		75%			
			実績		75%			
		目標						
		実績						

事業完了後の取り組み						
事業完了後の取り組み	成果目標(指標) 中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果	達成 / 進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度	R3年度	R4年度
	事業完了後の成果目標	整備した資機材等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	1	1	1
実績			1	1		
		目標				
		実績				
状況説明	【H30年度】 ・地域住民を対象に糸満小学校で避難所運営訓練(津波避難)を実施し防災資機材や備蓄食糧等の活用方法を確認した。					
	【R元年度】 ・地域住民を対象に避難所運営訓練(土砂災害避難・自主防災組織による炊き出し訓練)を実施し防災資機材や備蓄食糧等の活用方法を確認した。 不発弾処理に伴う避難所開設(避難所開設に必要な資機材等を準備 メガホン・コードリール)					
	【 年度】 .					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【H30年度】 ・本事業に関しては、災害が発生しない限り検証が困難なため、防災訓練等を実施し、適切な被災者支援ができるよう検証していく。			【H30年度】 ・災害時、整備した資機材を円滑に活用できるよう、適切な資機材管理や定期的な訓練を検討する。			
【R1年度】 ・本事業に関しては、災害が発生しない限り検証が困難なため、防災訓練等を実施し、適切な被災者支援ができるよう検証していく。 ・防災訓練にて資機材を実際を使用することで有用性が認められており、整備した資機材についても次年度訓練にて活用し取扱いの熟練度を上げる必要がある。			【R1年度】 ・災害時、整備した資機材を円滑に活用できるよう、適切な資機材管理や定期的な訓練を検討する。 ・R1年度に使用できなかった資材を次年度以降の訓練においては使用し、熟練度をあげることで災害に備える。			
【 年度】 .			【 年度】 .			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【H30年度】 ・災害時に円滑な避難所運営、被災者支援が行えるよう、適切な資機材管理や訓練を実施する。						
【R1年度】 ・災害時に円滑な避難所運営、被災者支援が行えるよう、適切な資機材管理や訓練を実施する。						
【 年度】 .						

市町村名	糸満市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	戦争遺構保全・活用整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア 地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成	
担当部課名	企画開発部	秘書広報課	事業実施 年度	平成 26	平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	平和教育・平和観光に役立てることを目的に、戦争遺構の整備等を行う。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		平成27年度	平成28年組	平成29年度	平成30年度	合計	
	A. 予算現額	32,533	25,183	7,653	7,491	72,860	
	B. 執行済額	31,792	23,168	5,908	7,379	68,247	
	うち 交付金充当額	25,433	18,534	4,727	5,903	54,597	
	執行率(%) (B/A)	97.7%	92.0%	77.2%	98.5%	93.7%	
執行状況の説明	H30年度不用額112千円は入札残によるものであり、事業計画通りに執行できた。事業全体としては執行率94.5%となっており、概ね事業計画どおり執行することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	戦争遺構概要版設置(地域説明、設計、工事)	目標	調査1件	設置	設置	設置	
		実績	調査4件	設置	設置	設置	
	概要看板設置検討委員会(年4回)	目標				4回	
		実績				4回	
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (R1年度)	
	戦争遺構概要版設置	目標	2力所	4力所	4基		
		実績	2力所	4力所	4基		
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成 / 進捗状況				
	中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 目標/発現年度
	概要版を設置した戦争遺構を活用した児童生徒への平和学習会参加人数	目標					150人
		実績					283人
		目標					
実績							
状況説明	[R1年度] ・当初の計画の通りに設置しており、平和学習の利活用の促進に繋がることが期待される。 ・平和学習への意識を育んできたことで、目標を達成することができた。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
[R1年度] ・糸満市平和ガイド育成事業 37人 ・千葉県銚子市平和学習事業 8人 ・網走市・厚木市青少年交流事業 19人 ・市内幼小中学校における「平和教育」に関する取組み 約219人 「平和教育」に関する取組みでの成果目標人数については、現時点で把握できる人数を計上している。 上記、令和元年度に活用した合計約283人			[R1年度] ・市内には多くの壕が点在しているため本事業で整備した概要版のみで平和学習を行うのは難しい。 ・引き続き教育機関に協力を求め活用状況について把握したい。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
[R1年度] ・平和教育や平和観光で多く活用されるようにホームページ等で周知を行っていく。 ・教育委員会等と連携し、平和学習に取り組んでいきたい。 ・毎年夏休みに、網走市及び厚木市の中学生が平和学習を行うために本市を訪れる機会を利用し、平和ガイドを活用していきたい。							